

## 拒絶理由通知書

|          |                   |
|----------|-------------------|
| 特許出願の番号  | 特願2000-126710     |
| 起案日      | 平成15年 6月16日       |
| 特許庁審査官   | 高瀬 勤 9069 5M00    |
| 特許出願人代理人 | 龍華 明裕 様           |
| 適用条文     | 第17条の2第3項、第29条第2項 |

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

## 理 由

\*\*\*\*\*

本願は原出願の出願当初明細書に記載されていない事項を含むので分割は認められない。

\*\*\*\*\*

A. 平成13年9月5日付けでした手続補正は、下記の点で願書に最初に添付した明細書又は図面に記載した事項の範囲内においてしたものではないから、特許法第17条の2第3項に規定する要件を満たしていない。

## 記

請求項10-15に関して

請求項10、13に「前記表示手段により前記メッセージを前記端末に表示した場合に、当該端末の利用者に対応づけたパラメータを更新させる更新手段」とあるが、出願当初明細書又は図面には表示によりパラメータを増加させることは記載されているが、減少させるのは注文した場合(第85段落)であり、表示によりパラメータの減少を含む更新とすることは新規事項の追加である。

B. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

アクティブ状態の検出は引用文献 2 (p. 16)に記載されているようにユーザの画面上での操作状態をサーバにフィードバックすることが記載されているから、アクティブ状態のときにパラメータを増加させることは当業者にとって容易である。

検索結果を利用者の特性に基づいて検索することは引用文献2のプロファイル(本願の利用者の特性)に基づくフィルタリングが周知技術であるから、当業者にとって容易である。

1. 特開昭63-299453号公報

2. 神場, The Krakatoa Chronicle: WWW上のエージェント機能を利用した、対話型パーソナル新聞, 情報処理学会研究報告, 日本, 社団法人情報処理学会, 1995年12月1日, 第95巻, 第115号, p. 13-18 (95-OS-71-3, 95-DPS-73-3)

・調査した分野 I P C 第 7 版 G06F17/30, G06F17/60, G06F15/00  
D B 名 JICSTファイル(JOIS)